

北陸農政局バイオマス・ニッポン優良事例の概要

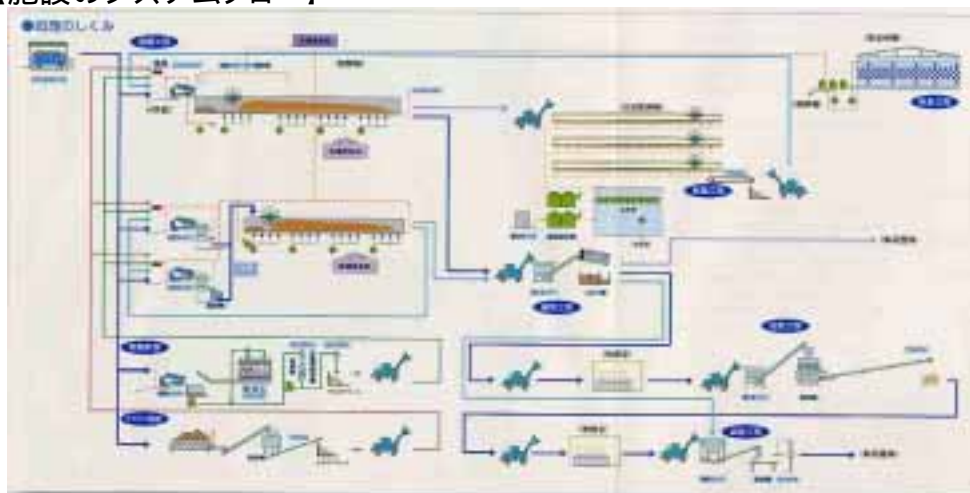
【北陸農政局長賞】

施設名	エコクル美方堆肥化施設		
所在地	三方上中郡若狭町向笠 128-13-2		
取組主体名	美浜・三方環境衛生組合		
取組の範囲	美浜町および若狭町の内、旧三方町全域		
開始年度	平成17年4月	交付主体	国、県
補助事業名	農村振興総合整備統合補助事業		
バイオマス資源 (処理量)	家畜排泄物、食品廃棄物、集落排水汚泥 (33.1t/日)	利活用製品等 (利活用可能量)	たい肥 (12.5t/日)
製品の利用先・販売先	地元農家等への販売		

1 運営概要・特徴

当施設は、地域資源循環型社会の実現を図るべく、美浜町および若狭町の内、旧三方町全域から発生する家畜糞尿（乳用牛糞、肉用牛糞）、生ゴミ、集落排水汚泥等を堆肥化するコンポスト施設として、平成17年4月より本格稼働している。また、製品化された堆肥は、流通管理業務を受けたJAを通じて地元農家等へ販売され地域の水田、畑地等へ農地還元されており、「土づくり、有機栽培、環境への配慮」を目指した地域の農業に寄与している。

【施設のシステムフロー】



2 取組目的	<p>有機堆肥を介した農地への土壌改良、有機農業の推進・実証、三方五湖の水質浄化を基本とした地域資源循環型社会の実現をテーマとして、地域資源リサイクル設備(堆肥化施設等)の基盤整備を行い、地域住民、農家、各関係機関、行政が一体となって未利用有機性資源のリサイクルに取り組み、地域の持続可能な資源循環社会の構築と環境への負荷軽減を目指す。</p>
3 取組概要	<p>当施設は、美浜・三方環境衛生組合が事業主体となって、若狭町のうち旧三方町地域および美浜町全域から発生する家畜糞尿、生ゴミ、集落排水汚泥等を堆肥化するコンポスト施設として平成14年度より整備し、平成17年4月より本格稼働している。</p> <p>製品化された堆肥は流通管理業務を受けたJAを通じて地元農家に販売し、地域の水田、畑地等に農地還元する。</p>
4 取組の効果	<p>家畜糞尿、生ゴミ、集落排水汚泥等、未利用有機性資源を堆肥化することに伴い、地域住民の資源リサイクルおよび環境に対する意識が向上した。</p> <p>家庭から搬出される生ゴミおよび集落排水汚泥を焼却処分しないことにより焼却処理量が削減され、環境の負荷軽減に貢献している。</p>
5 現在の課題	<p>当施設は平成17年4月より本格稼働したところであるため、土壌の成分検査および製品化された堆肥の成分検査等を行なっているものの、今年度初めて本格的に使用することから、今後、製品化された堆肥を使用したほ場の作物生育状況等について見守っていく必要がある。</p>
6 今後の展開方向	<p>製品化された堆肥について更なる利用促進のため、販売委託を受けたJAなどの各関係機関、行政が一体となって普及活動を推進させるとともに、製品化された堆肥を使用した農作物については、安全・安心な有機栽培された作物として積極的にPRを行い、地域に根付いた資源循環型農業の確立、環境にやさしい社会の構築に向けて取り組んでいきたい。</p>
7 補助制度、融資制度の活用状況	<p>農村振興総合整備統合補助事業 美方地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施期間 平成14年度～平成17年度 ・総事業費 1,887,000千円(うち国庫補助金 943,500千円) <p>農村振興整備支援事業 美方地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施期間 平成14年度～平成15年度 ・総事業費 6,000千円(うち国庫補助金 3,000千円)
8 過去の受賞歴	<p>17年度 第1回堆肥共励会 牛ふん堆肥(乳用牛)の部 優秀賞</p>